

第二次世界大戦の始まり

1 / 1

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

第二次世界大戦はどのように始まり、日本はどんな道を選んだのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 ヨーロッパで始まった戦争

ドイツの侵攻

独ソ不可侵条約

1939年、ドイツとソ連が結んだがいに攻めない約束。

ポーランド侵攻

1939年9月、ドイツがポーランドに攻めこんだこと。

ヒトラー

ドイツでナチスを率い、独裁をしいた指導者。

ドイツでは、**ヒトラー**の率いるナチスが政権をにぎり、軍備を広げてオーストリアなどを併合し、周辺の国にも領土を求めていた。1939年8月、ドイツはソ連と**独ソ不可侵条約**を結んで東側の安全を確保し、同年9月1日に**ポーランド**に攻めこんだ(**ポーランド侵攻**)。ポーランドを助けるイギリスとフランスがドイツに宣戦布告し、**第二次世界大戦**が始まった。

ドイツは翌1940年に西ヨーロッパへ進み、6月にはフランスを降伏させた。同じ月、イタリアもドイツ側に立って参戦した。イギリスは本土への空襲に耐えて戦いつづけた。1941年6月、ドイツは不可侵条約をやぶってソ連に攻めこみ(独ソ戦)、戦いはさらに広がった。ドイツ支配下の地域では、ユダヤ人が迫害され、強制収容所などで多くが殺害された。

独ソ不可侵条約
1939年8月

ポーランド侵攻
1939年9月1日

英仏が宣戦
第二次世界大戦の始まり

フランス降伏
1940年6月

2 日独伊三国同盟と南進

日本の進路

日独伊三国同盟

1940年、日本・ドイツ・イタリアが結んだ軍事同盟。

日ソ中立条約

1941年、日本とソ連が結んだ、たがいに戦わない条約。

南進

東南アジアへ勢力をのばそうとする動き。

日中戦争が長引く日本は、ヨーロッパでのドイツの勝利を見て、資源の豊かな東南アジアへ進む「**南進**」を考えるようになった。1940年9月、日本はフランス領インドシナ北部に軍を進め、同じ月にドイツ・イタリアと**日独伊三国同盟**を結んだ。アメリカは、くず鉄など戦争に必要な物資の日本への輸出を制限し、アメリカやイギリスとの対立は深まった。

北方の安全を確保するため、日本は1941年4月に**日ソ中立条約**を結んだ。同じころ、アメリカとの対立をやわらげるための日米交渉も始まった。同じ年の6月にドイツがソ連に攻めこんだが、日本はソ連とは戦わず、南への進出をさらに進めることにした。

条約	年	ねらい
日独伊三国同盟	1940年	ドイツ・イタリアとの結びつきを強める
日ソ中立条約	1941年	北方の安全を確保する

問いへの答え

1939年にドイツが独ソ不可侵条約を結んでポーランドに攻めこみ、イギリスとフランスが宣戦して第二次世界大戦が始まった。日本は資源を求めて南進を考え、1940年に日独伊三国同盟を結び、1941年には日ソ中立条約で北方の安全を確保して、戦争へと近づいていった。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

